

### (3) 主題発表及び討論

#### ● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

引続き、都市別の主題発表の時間に入りたいと思います。まず、バンコク市からお願いします。

#### ● バンコク ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

議長、ご列席の皆様。

本日、「第4回アジア太平洋都市サミット実務者会議」の開催にあたり、ご列席の皆様と「アジア太平洋都市間の観光交流振興方策に関する会議」を進めて下さる議長に、バンコク市を代表してご挨拶申し上げる機会を得ましたことをうれしく存じます。今回の会議は、域内都市間の友情とネットワークを強化し、相互協力を図るために意見を交換する素晴らしい機会でございます。「アジア太平洋地域の観光振興に向けた会員の役割と責任に関する発表」を始める前に、バンコク市代表団の団長のChanchai Rohitasiriバンコク市観光局長をご紹介します。

1997年、タイは行政府、統治構造、国民の自由権が大幅に修正された新しい憲法を採択しました。新しい憲法の特徴は、地方政府に権限を移譲し、地方分権化を進めたことであります。地方政府の権限、義務、責任が過去より強化され、現在は、教育、衛生、交通、観光分野のサービス向上業務を地方政府が担当しています。

過去、観光の振興については中央部処の「タイ観光庁」(略してTAT: Tourist Authority of Thailand)が担当していました。しかし現在はTATの指針に基づき、各都市がTATと協力しながら観光業務を進めるようになりました。TATは、1997年からバンコクの観光産業振興のために働いてきました。第一に、観光産業の振興が主な目的で、第二に、観光産業活動の活性化、第三に情報提供業務を推進してきました。

バンコク市の観光局は、まず金融部門の失業者30名を採用しましたが、その後、バンコク市観光局作業チームに新規大卒者も加わりました。現在、約60名の観光担当スタッフが、バンコク観光情報センターや観光案内キオスクで働いています。バンコク市の観光局は、まず金融部門の失業者30人を採用しましたが、その後、バンコク市観光局作業チームに新規大卒者も加わりました。現在、約60人の観光担当スタッフが、バンコク観光情報センターや観光案内キオスクで働いており、様々な観光情報を観光客に提供しています。

バンコク市観光局は外国人観光客のために観光地や商業中心地など主要戦略地点にキオスクを増設することにしました。さらに、バンコク市を魅力のある観光地に開発するための計画を進めています。重要なのは、観光商品のブランドを作ることであると思われます。

それでは、観光振興のためにアジア太平洋会員市に課せられた役割についてお話ししたいと思います。次のような政策

を提案したいと思います。

1. 国家発展や持続的に成長可能な観光を開発
2. 「東南アジアに向かう玄関 - タイ」広報において隣国と協力
3. 観光の発展・振興に向けた政府・民間部門のネットワーク構築
4. 海外観光の勧奨、域内での滞在期間の延長
5. 観光業界が提供しているサービス基準の向上
6. 観光管理と発展に向けた市民社会の役割強化を促進

BMAグループは、アジア太平洋地域の観光関連措置を選定し勧告しています。初めに提案したいプログラムは、観光資源を掘り起こして企画に取り入れることであります。各都市は観光活動における成功要素や実例をまとめ、その情報を中心都市に送って出版し、年次報告書という形で配布します。この報告書には地域の経済環境、観光需要、観光資源などの情報が盛り込まれます。中心都市は会員市が決めます。出版や配布費用は会員が分担することにします。このプログラムの目標は、国際観光機構の域内観光資源に関する知識を改善し、域内の観光資源情報を会員が共有することにあります。このプログラムの主な成果としては、総合的な観光情報リストや評価報告書の作成をあげることができます。

二つ目のプログラムは、観光分野の国際投資促進です。会員都市は、各地域に対するインフラ、施設その他の関連事項に関する投資機会を調べてまとめ、その内容を作成しなければなりません。この情報は、中央都市が取り合わせて配布します。会員都市の代表が定期的集まり、投資提案書を評価して模範事例を選定し広報を行います。目標は、域内観光分野の国際投資の改善であり、主な成果としては、国際投資の機会についてのプロシユアの作成をあげられます。

三つ目のプログラムは、観光マーケティングの共同推進です。会員都市は地域の観光促進マーケティング計画を樹立するための評価・分析作業を行います。それで、どの会員都市が可能であるかよくわかりませんが、次のような内容を提案したいと思います。域内VIPカード制度を導入し、カードのメンバーには、ホテル、商店、食堂などでディスカウントサービスを提供します。ホテル、商店、食堂の選定は、会員都市が共同で制定した標準に基づいて行います。また、ウェブサイト/ポータルサイトを構築し、サイバースペース上の中央都市として活用します。多様な情報やダイアログ式ツールを整えて会員都市や潜在顧客が直接対話できるようにします。このサイトから観光地、行事、祝祭など観光と関連した正確な情報を適時に入手できます。また、出版物の共同広報も可能です。

そして、宝探しプログラムもあります。域内50ヶ所の観光地を選定し、本プログラムに参加させます。観光客は各観光地でゲームカードにビザスタンプを押してもらうのですが、これを5つもらった観光客には各指定場所で料金を払い戻し

ます。このプログラムの目標は、地域の観光と商品需要の促進です。主な成果としては、マーケティング戦力、共同広報、出版、ウェブサイトと同じ内容を開発できることをあげられます。

四つ目のプログラムは、観光商品の開発促進です。会員都市は、品質やレベルの高い優秀商品を選定し、会員都市で開かれるアジア太平洋都市サミットで、またはその他の観光博覧会で広報活動を行います。今日釜山で多くの商品をご覧になられます。そして、地域観光広報もできます。多くの都市が地域観光及び商品の広報に積極的に参加して下さいと思います。このプログラムの目標は、商品開発、品質の向上、観光協会のアドバイスによる域内観光レベルの改善にあります。主な成果としては、アジア太平洋地域の観光商品開発に向けたネットワークの構築を上げられます。ですから、ネットワークを通じて地域の観光振興がなされると思います。

五つ目のプログラムは、旅行関連施設ですが、会員都市は観光や旅行を妨げる阻害要因を見つけ出し、その情報を活用して解決策を打ち出します。旅行を一層促進するためにアジア太平洋会員都市が観光ビザ申請を受け付け共同で審査を行います。共同審査についてはMOU(基本合意書)の形でまとめます。目標は、域内の観光客の国境を越えた域内移動を妨げる要因を取り除くことで、主な成果は域内の旅行・観光を阻害する要因に関する総合報告書と都市間のMOUを締結することです。

六つ目のプログラムは、訓練の提供と技術交流に関連するものです。会員都市は、候補を選び、域内パートナーとパートナー間で行われる地域交流プログラムに参加させることにより、技術的な知識や相手の作業環境を体験する機会を提供します。ある都市に対する観光客の印象は、旅行ガイドや通訳の影響を大きく受けます。従ってサービス精神、歴史、文化、言語に関する正確な知識や理解がガイドに求められます。域内のガイドや通訳対象の訓練プログラムを構築する必要があります。観光ガイドや通訳の業務を効率化できる上、レベルの向上にもつながるでしょう。このプログラムの目標は、会員都市間の連携を開発・強化することにより域内のレベルを向上することで、主な成果は、アジア太平洋国家の歴史、文化、言語に関する共同訓練プログラムです。

最後のプログラムは、国際会議における小地域内の協力増進です。

アジア太平洋国家では毎年数々の国際会議が開かれています。その際に、主催国や隣国の観光を促進することができます。例えば、共同ビザ申請により、タイで開かれる会議の参加者にラオス、マレーシア、ミャンマー、カンボジア等の隣接諸国を旅行できるようにするのです。こうして地域間の観光協力の増進が主な目標となり、主な成果は、観光における小地域協力と発展にあります。

バンコクでは、上のような提案をしようと思っており、このようなプログラムがこれから有意義に活用されることを願います。勿論、多くの協議と研究が必要とされます。ご清聴有難うございました。

質問がございましたら、承りたいと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

素晴らしい発表を下さいました Chanchai Rohitasiri観光局長とブリーピングを下さいました国際課の課長に深く感謝申し上げます。今日の発表内容は、政策的方向6つと観光資源を発掘して観光地の参加を促すこと等7つのプログラムについて大変具体的かつ実現可能な提案でした。発表をお聞きになって質問等がございましたら質問をお願いします。国際会議を進行していると、言葉の問題で質問が出ない場合もあります。質問を考える時間をお与えます。観光分野では、女性のパワーが強いです。21世紀は、観光の世紀とも言いますし、女性の世紀とも言います。本日、また、女性の課長が素晴らしい発表を下さいましたし、同時通訳の方も全員女性で、フロアの方々も皆女性です。ですから正に21世紀は女性の世紀ではないかと思えます。質問ございませんか？なら、私が指名します。マニラからいらした方、質問をどうぞ。

● マニラ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

発表が大変明瞭だったと思います。だから、質問はございません。ありがとうございます。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

なら、マニラのマリア・コレンソさん、質問がございましたらどうぞ。

● マニラ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

私の名前は、マリア・コレンソです。私もマニラを代表して参りました。私は、アジアの国々を旅行しましたが、コメントをするなら、言語の障壁による意志疎通の問題が一番の問題です。だから、このような会議で、意志疎通のためのメディア、媒体があればと思います。このような大きな会議に参加する時は、言語障壁のために苦労します。だから言語問題を解決する方法が採択されればと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

よい方法があれば、具体的に話して下さいませんか。

● マニラ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

さあ、観光業界のリーダーに英会話などの教育を行い、このような国際会議では英語で意志疎通できるように訓練するのが重要だと思います。

●議長 ●●●●●●●●●●

次の質問をお願いします。はい、ジャカルタ、どうぞ。

●ジャカルタ ●●●●●●●●●●

観光交流関連の勧告案についてのご提案、ありがとうございました。私が具体的に質問したいことは、六つめのプログラムです。教育を提供し、技術的交流をすることにおいて、会員間の技術レベルを高めることでありますが、具体的にどう進めるべきでしょうか。

●バンコク ●●●●●●●●●●

ありがとうございます。バンコクにもこのような問題が実際ありました。なぜなら、バンコクは観光が大変重要な産業として位置づけられている都市で、観光庁もありますが、観光庁の職員の観光プログラムに対する熟練度が不足しているということを知りました。マニラ、北京、モスクワのような姉妹都市がありますが、姉妹都市毎に観光を重視し育成しています。それで、私たちは、同僚間の交流プログラムを作りました。国際会議も開催しましたが、姉妹都市のみならず他の都市間の交流も可能であると思います。また、中国語講座も開いて北京からいらした中国の方々がバンコクの学生や教師に中国語を教える場を設け、皆さん中国語を勉強しています。また、ワシントンD.C.からアメリカ人を招請し英語講座も開いています。私たちは、言語教育のみならず他の教育も実施し、これを通じて教育プログラムを交流できると思います。高位職にいらっしゃる方のみならず、現場で仕事をしているの方々のための教育プログラムもあります。横浜にNGOがありますが、そこでも補助が一人必要で私の同僚の内一人が横浜に行って一年間勤務しました。一年間仕事をしながら多くのことを学びました。

●議長 ●●●●●●●●●●

観光において語学の問題は、大変重要な問題で、各都市間のコミュニケーションを基本的に英語ですべきだというのは、長期的な課題ではないかと思います。上海、質問ございますか。

●上海 ●●●●●●●●●●

素晴らしいご提案だと思います。観光地開発と同時に都市間の協力強化も大事だと思います。都市間の交流を通じて多くの観光客を誘致できます。例えば、今日のような会議も素晴らしい協力方法だと思います。この他に、観光パンフレットの発行と広報物、インターネットを通じて宣伝・広報するのも良い方法だと思います。他の意見ございませんか。ありがとうございます。

●議長 ●●●●●●●●●●

ありがとうございます。では、今度は、釜山市、お願いします。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

バンコクの発表ありがとうございました。様々な素晴らしい提案がありましたが、この内プログラムの三番目、観光マーケティングの共同推進の内、宝探しプログラムが魅力的だと思います。域内のトップ50の観光地を選定し、スタンプを5つ集めれば料金の払戻しをするということですが、具体的にどういったものなのか説明をお願いします。

● バンコク ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ありがとうございます。過去、観光客の趨勢を見てみますと、主にお金持ちが観光をしていましたが、今は、違います。観光の時代に生きている今、観光客の年齢が若くなっています。日本及びタイの観光客が多いのですが、20-30代が多いです。この宝探しプログラムを推進すれば、若い人々を確保できると思います。なぜなら、若い人は冒険好きで人生を楽しみます。このようなプログラムは、若い階層にインセンティブを提供することができ、インターネット世代である彼らにインターネットを通じて多くの情報と経験を提供できると思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

次の質問をお願いします。学生の方々と旅行代理店の方々が大量いらして下さいましたが、フロアの方からも質問を承りたいと思います。ホーチミン市、どうぞ。

● ホーチミン ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

幾つかのプログラムを提案して下さいましたが、プログラムがどのように施行され、財政的な調達はどのようになっていますか。

● バンコク ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

詳細な内容につきましては、後でお話申し上げます。第一に、プログラムによる情報の発行の話をしました。これに必要な予算は、関連都市でまかなうべきだと思います。バンコクの場合、協会が参加し財政調達を行い、また、会員費というものがあまして、会費を出せば情報を得られます。アジア太平洋都市サミットで会員都市から予算を受けられるかどうか分かりませんが、会費を集めるのが一番適切な調達方法だと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

質問の内容をまとめてみると、観光における言葉の問題、魅力のある観光商品をいかに開発していくか、観光地開発と相互交流の拡大のための財政を如何に調達するかが提起されています。素晴らしい発表と問題提起、ありがとうございます。以上でバンコクの発表と質問を全て終え、次は釜山広域市の発表を承りたいと思います。準備は宜しいでしょうか。釜山広域市の禹錫鳳さん、発表をお願いします。

## ● 釜山 禹錫鳳 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

今日は、釜山広域市政策開発室選任研究員の禹錫鳳です。まず、アジア太平洋都市サミット実務者会議に参加して下さいました代表の皆様を心より歓迎致します。アジア太平洋都市サミット会員国の発展と共同繁栄に大きく寄与することを願いながら、私の発表の主題である「アジア太平洋都市間の観光交流拡大方法」についてお話申し上げます。

まず、アジア太平洋都市間の観光交流の必要性です。20世紀が理性の時代なら、グローバル化・情報化・地方化が急速に進行中の21世紀は、理性と感性の調和が必要な時代だと言えます、今我々は、個人と個人は勿論、国家と国家間の調和と相性が必要な時代に生きています。しかし、国家と国家間の調和と相生は、様々な要因により妨げられ、まだ理想から遠い状態であります。しかし、都市と都市間の調和と相性は、可能です。都市と都市間の交流と協力が国家と国家間の交流より遥かに容易であるからです。都市と都市の間では、よく国家間の問題として浮上するイデオロギーによる障害や経済的利害に起因する障壁が多くないからです。しかし、都市と都市間の交流と協力も具体的に見てみると、文化・体育・観光、そして人的交流分野に制限されます。

この中でも、観光分野は、交流と協力の真髄と言えます。アジア太平洋都市サミット創設の基本目的がアジア太平洋都市サミット会議の会員都市の発展と協力の増進にあるとするなら、この目的を達成するために観光分野の交流と協力の増進より大切なことはないと言えます。感性の時代21世紀を迎え、ここにお集まり頂いた観光分野の実務責任者による各都市間の観光交流と協力の推進は、新しい時代を切り開く出発点となるでしょう。

次は、国際観光市場の動向です。1990年の国際観光客数及び観光収入は、458百万人、2,680億に達するが、毎年持続的に増加し1999年には、657百万人、4550億ドルに達しました。このような成長の趨勢を基に、世界観光機関(WTO)で1999年発表した世界観光需要の見通しを基にアジア太平洋都市サミット会員国と関連した東アジア/太平洋地域の観光関連の主な見通しをみると、次のようであります。

2001年の東アジア/太平洋国際観光客数は1億人を超える予定です。そして、2002年東アジア/太平洋地域の出国観光客数も1億人を超える見通しです。2006年の北東アジアの国外出国観光客数は1億人を超えることでしょう。2009年、中国が国際観光客5千万人を誘致すると予想され、北東アジア国際観光客及び出国観光客がそれぞれ1億人台に入る予定です。2010年には、世界の観光客が10億人を突破し、東アジア/太平洋地域が世界2位のインバウンド市場として浮上すると予想されます。

次は、東アジア/太平洋地域の国際観光客数及び観光収入の増減と占有率です。アジア太平洋都市サミットの会員国が属している東アジア/太平洋地域の国際観光客数は、アジア景気の低迷により、1997年と1998年に減少しましたが、1999年度には前年比7.5%増加した9370万人に成長し、世界観光市場の14.6%を占めておりますが、その反面、アジア太平洋都市サミットの会員国が所属している東アジア/太平洋地域の国際観光収入の増減率及びシェアの場合、1997年が760億ドルで-6.8%、1998年680億ドルで-10.2%と減少しました。シェアも97年17.4%、'98年15.6%

で、'90年代初めの水準に急激に減少しました。

次は、世界及び東アジア/太平洋地域の観光客の見通しです。国際観光客は年平均4%の成長率を記録し2000年6億6千万名、2010年10億名、2020年15億6千万名に増加すると予想されます。アジア太平洋都市サミットの会員国が属している東アジア/太平洋地域の外からの観光客は年平均7%以上増加し、2010年1億9千5百万名となり、世界インバウンド観光客の19.4%を占めることと予想されます。東アジア/太平洋地域の世界観光市場のシェアは、2000年13.9%から2010年19.4%、2020年25.4%と継続して増加する見通しで、今後主な国際観光市場に浮上すると予想されます。そして、東アジア/太平洋地域の国際観光客のうち域内観光客の規模は2010年75.2%、2020年には77.7%で、持続的な増加が予想されます。

次は、観光形態の見通しです。WTOが予想している21世紀観光環境の流れは、グローバル化から地域化への変化、観光目的地選定及び販売網構築の際電子技術の莫大な影響力を発揮し、旅行手続きの簡素化及び迅速化を重視し迅速かつ便利な旅行を追求し、以前行かなかった所、つまり奥地旅行の増加及び宇宙観光時代の開幕、海外旅行の日常化、このようなことを結合したテーマ別観光商品の浮上等を上げられます。こういった観光形態の変化により、今後発展が予想される観光形態としては、奥地・冒険観光、クルーズ観光、自然・生態・グリーン観光、文化観光、テーマ観光、コンベンション観光等を上げられます。

2000年5月13日から15日まで釜山市で開催された第4回 アジア・太平洋都市サミットで会員都市は、分科会議のテーマとして都市間の交流と貿易増進、観光産業の育成方案というテーマで発表しました。上記の資料を基に、会員都市の育成方案を①都市イメージ改善と都市魅力改善のための努力、②観光商品の開発、③観光受入体制の改善、④観光専門人材の育成、⑤お祭り、スポーツ産業等メガイベントの育成、⑥コンベンション産業の育成、⑦観光資源開発方向、⑧観光行政、⑨観光ルートの開発及びその他の事項等の項目に分けて観光振興のための会員都市の育成方向を分析し、アジア太平洋都市サミット会員都市の分野別観光産業育成方向を提示してみました。

まず、バンコクの場合、受入体制の改善とお祭りイベント、コンベンション、そして観光行政部門に重点を置いています。広州の場合は、観光商品の開発とお祭り、イベント、コンベンション、観光資源、観光行政、観光ルートの開発に重点を置いています。鹿児島は、祭り、イベント、観光資源開発の側面に重点を置いており、熊本は、イメージと魅力性、観光商品開発、コンベンション、観光資源の開発の方に重点を置いています。マニラの場合、イメージと魅力性、お祭りイベント、観光資源、その他の事項、そして宮崎はイメージと魅力性、受入体制の改善、専門人材の養成、祭りイベント、観光資源、観光ルートの開発に重点を置いています。長崎市の場合は、イメージと魅力性、祭りイベント、観光資源開発の側面に重点を置いています。釜山市の場合もイメージと魅力性、観光商品開発、受入体制の改善、祭りイベント、コンベンション観光資源の開発、観光ルート開発に重点を置き、上海の場合、イメージと



魅力性、観光商品開発、人材の養成、祭りイベント、観光資源、観光行政、観光ルートに重点を置き、大連市では、イメージと魅力性、祭りイベント、観光資源の開発、福岡はイメージと魅力性、観光商品の開発、受入体制の改善、専門人材の養成、祭りイベント、コンベンション、観光資源、観光ルート、ホノルル市の場合、受入体制の改善、祭りイベント、コンベンション、観光資源、観光ルートの開発、そして北九州市の場合は、イメージと魅力性、祭りイベント、観光資源の開発、観光ルートの開発に、クアラルンプール市の場合、イメージと魅力性、受入体制の改善、コンベンション、観光資源の開発、大分市の場合、観光商品の開発、お祭りイベント、その他の事項、ウルムチはイメージと魅力性、観光資源の開発、観光ルートの開発に重点を置いています。

このような分析を通じて、次のような示唆点を得られます。

各会員都市が、21世紀における各都市の主要成長エンジンとして観光を認識し、各都市に適合する分野を特化して、観光産業を育成するために力を注いでいることが分かります。ほとんどの会員都市はその都市が有する観光資源に基づき、ほとんど独自の観光商品を開発して販売しています。

観光ルートの開発からも分かるように、宮崎と上海などは、近隣都市と共同ルートを開発するよう力を注いでおり、広州、釜山、北九州、福岡などは国際観光ルートに関心を持っています。

広州の場合、香港、マカオ、東南アジア国家を繋げた国際観光ルートの開発可能性を提起しており、釜山、北九州などは韓国・中国・日本の国際観光ルート開設に関心を表明しています。

都市と国境を越えた国際観光ルートは、豊富な地域メニューを生み出すのでシナジー効果が期待されます。外国観光客を奪い合うよりは、国境なき観光を実現することにより、旅行客の数を拡大することができます。そして、これまでほとんど不可能と認識されていたオセアニア、欧州、米国などから観光客を誘致することもできます。

各会員都市で開催される祝祭とメガイベントは、地域的な特性を活かしており、その都市で小規模で開催されています。しかし長崎祭りの場合は、中国の影響を大きく受けているので、上海やその他の中国都市と共同で祭りを開催する場合、国際的な祭りに発展する可能性が高いと思われます。釜山の場合も、朝鮮通信使祭りを日本の都市と共同で開催する場合、国際的な祭りに定着する可能性がさらに高まるのです。コンベンションの場合も同じです。

一方、観光専門人材、観光行政などに関する意見を提示した都市は少なかったのですが、これは観光産業の育成において欠かせない要素です。これらの分野における会員都市間の協力関係の構築は、会員都市の観光交流に限らず、社会・文化交流全般に広まり、究極的にはアジア太平洋都市サミット会員都市が属する域内観光産業の活性化にもつながるでしょう。

このような分析を基に、アジア・太平洋都市間の観光交流拡大方案を次のように模索してみました。

第一、アジア太平洋都市サミット会員都市は、観光関連当局やその他の観光関連機関の従事者が参加する会員都市間のFAM TOURを拡大実施し、これを通じて会員都市の観光資源の理解に基づき、観光産業の育成と発展を図ります。

第二、アジア太平洋都市サミットの会員都市は、共同観光商品の開発と観光広報物の共同製作に基づき、共同

広報活動と共同マーケティング活動を展開するための作業に積極的に参加することが求められます。

第三、アジア太平洋都市サミット会員都市は、旅行や観光関連の社会間接資本を開発するため、民間部門同士の協力を奨励し増進させなければなりません。そのためには、自国の法律に準じて観光産業と社会間接資本を開発するため、資本投資と合作投資の重要性を認識し、外国人投資に必要な法律的な要件、租税及び外国人投資家に提供する便宜に関する情報を交換します。

第四、アジア太平洋都市サミット会員都市は、観光交流を促進する交通と通信を改善するための方策を講じるべきです。また、自国の法律及び相互主義に基づき、出入国などの各種手続きや書類要件を簡素化または省略することにより、会員都市間の観光交流を促進し、観光振興のための文書や資料の搬入・搬出を促進するよう努力すべきです。

第五、アジア太平洋都市サミット会員都市は、観光増進・発展に従事する人の専門知識と専門性を高めるために、会員都市専門家同士の協力を奨励します。また、技術的な問題、特にホテル運営や経営における企画、研究計画、システムや教員と講師の訓練方策、国内外の観光関連の統計やその他の観光活動関連資料のような観光産業情報の交換と、観光資源としての自然や文化資源の保護、保存のため、会員都市の所属国家が実行している法律について情報を提供します。

第六、アジア太平洋都市サミット会員都市は、自治政府主導の下、観光関連の奨学金造成に力を入れ、各都市の観光分野の学生や教授が、会員都市の大学や訓練機関が提供する奨学金を活用できるよう奨励します。

このような結果を基に、次のような結果を見出しました。このように、観光交流やその他の交流活動を通じて観光を活性化するためには、「アジア太平洋都市サミット会員都市全員に利益を」という前提条件が必要です。

私が提示した観光交流の拡大に向けた方策は、全会員都市に利益をもたらすものと確信しております。なぜならば会員都市が別々に観光振興を進めるより、会員都市同士が共同で進める方がシナジー効果が大きいはずであるからです。会員都市が観光交流を拡大し、戦略的な提携を締結するには、ネットワーク構築が欠かせません。従って、「第4回アジア太平洋都市サミット」で釜山市長が提案したアジア太平洋観光振興機構(TPO)の早急な設立を、ここに改めて提案する次第でございます。

TPOに次のような課題を担当させることを釜山市は提案致します。

第一、観光交流を活性化する上で最も重要な要素の一つが交通部門です。会員都市間の国際航空路線開設のための協議を進めることを提案します。

第二、観光交流を活性化するためには、相手都市を深く知り理解することがなにより重要です。会員都市が共同でFAM TOURを実施したり、FAM TOUR 実施を定例化することを提案致します。

第三、現在、非定期的に会員都市に寄港するクイーン・エリザベス号などの非定期遊覧船を定期就航するように、共同の観光商品や共同の観光ルート開発を通じて共同広報と共同マーケティング活動事業の展開を提案致

します。

第四、共同のお祭りやメガイベント開催と関連し、欧州の代表的な海洋祭りの「カティーサーク帆船大会」のように、会員都市を巡回する仮称「アジア太平洋都市帆船大会」を共同開催することを提案します。

このような提案が採択され、アジア太平洋都市サミット会員都市の観光産業の育成に大きく役立つことを期待します。

釜山滞在が楽しい思い出となり、今回の会議で所期の成果を上げられますことを祈念しながら発表を終えさせていただきます。有難うございました。

### ● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

素晴らしい発表をして下さいました釜山広域市の禹錫鳳さんに感謝申し上げます。発表の内容をまとめてみますと、都市の観光産業育成方向を精密に説明し、観光ルート開発のための共同努力の必要性と、お祭りやメガイベント等の共同開催を通じて観光専門人材、観光行政分野に関する会員都市間の協力体制の構築について発表して下さいました。では、釜山市の発表について質問、またはご意見をお願いします。会員都市間の観光産業育成重点方案について資料を提示して下さいました。恐らく、色々ご意見があろうかと思えます。質問をどうぞ。質問がございませんでしたら、福岡市、何かご意見があったと思えますが。

### ● 福岡 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

発言の機会を与えて下さりましてありがとうございます。福岡市の意見を申し上げます。釜山市のご提案は、多方面に渡り理論的によくまとめて下さいました。アジア太平洋の会員都市として昨年釜山市長が提案して下さいましたTPOについては、実務レベルで検討すべきことを理論的に良くまとめて下さいました。今直ぐにでもできること、そして、長期的に様々な検討を経て進めるべきことなどを包括的に、例えば都市基盤の問題、交通問題等を含め幅広くまとめて下さったと思えます。

この場で発表を聞かせていただき、一つ提案したいと思えます。今現在、実務者会議を開催しておりますが、例えば釜山市の情報が必要で連絡を取る際にどなたに連絡すればよいのか、コンタクト・ポイントが分かりません。恐らく、皆様も福岡の情報が必要な時、どなたに聞けばよいのか分からないと思えます。それで提案したいと思えますが、行政部門と観光、又はコンベンション部門の担当者がいると思えます。つまり、国際会議でのヘルプ・デスクのような役割を果たし、質問などがある際に窓口となる方々の名簿を作成すべきだと思います。恐れ入りますが、私の考えをご提案申し上げました。以上です。

### ● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

いいご提案です。この問題について、お答をお願いします。

● 釜山

市長が提案して下さいましたTPOが設立されたら、ネットワークを構築し、これにより会員都市は、各都市の文化観光関連又は都市の歴史など全部門に関連するホームページを構築し、このネットワークにリンクすることができます。ならば、ただ今福岡市が話して下さいました行政部門や観光コンベンション担当者が誰なのか、また、その担当者のメールアドレスや電話番号等を全て掲載します。以上です。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

福岡市、何かご意見ございませんか。

● 福岡 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

勿論、TPOがそのような形になって欲しいと思いますし、究極的にはそうなるべきだと思います。しかし、もう少し早期に推進するための窓口の役割として共同データベースを整備する必要があると思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

その点につきましては、会員都市が皆共感すると思います。ホームページが開設され、連絡先が明示されておりますが、問題はコンタクト・ポイントが誰なのかで、担当者が変わったり情報に一貫性がないのが問題だと思います。大変具体的な事柄ですので、この問題について討議したいと思います。大分市、どうぞ。ワールドカップの開催都市でもありますね。

● 大分 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

大分市です。ウェブサイトと関連した釜山市の提案ありがとうございます。歴史的に多くの観光資源をお持ちの都市が本日大勢参加されました。大分市は、1993年を観光元年と指定し、観光資源の発掘に努力して来ましたが、まだまだでございます。ですから、皆様の貴重な提案を充分実行できるか心配ですが、規模が小さい都市も含めて提案して下さいましたのでしょうか。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

姉妹都市間航空路線開設の場合は、人口が少ない都市は難しいと思います。そのような事柄は、国際空港を持った都市を優先的に育成し、これに含まれる都市をもとに自国内で協議体を構成できると思います。十分な答えになったのでしょうか。

● 大分 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ありがとうございます。

● 議長

質問ございませんか。ウルムチ市もせっかくですから、どうぞ。

● ウルムチ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

良いご提案でした。質問も大変建設的な意見だったと思います。簡単に懸案申し上げますと、いくら良い方法であっても、手続きを経て完成しなければならないということです。つまり、都市間の協力において効率よく協力するためには、国家の外交政策や地方の外交政策と合致しなければなりません。全ての部門の業務が調和をなすべきだということです。例えば、交流を拡大するため、今日のような会議でも各都市の中央政府や外交担当の方々を招いて一緒に参加できれば、出入国手続きの緩和、ノービザ関連の手続き簡素化に対してより効果的な代案を模索できると思います。以上です。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ありがとうございます。どんな都市であれ、国家があって都市があります。従って、自国の法律に基づいた協力方法でなければなりません。法律に反してできることは何もありません。ウルムチで提案して下さった部分を早く推進するためにも、このような会議で各国の外交部門と関連した当局者会議を平行して開催するののも一つの支援方法だと思います。ありがとうございます。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

次は、ウラジオストックどうぞ。

● ウラジオストック ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

まず、本日の会議にお招きいただき感謝申し上げます。そして、私は英語ができませんので、通訳を介してお話します。ご了承ください。ウラジオストックは、観光業部門において大変経験が浅い都市であります。ウラジオストックは、アジア太平洋地域の各国と隣接した都市で、ロシア連邦共和国の果てと良く言われます。ウラジオストックは、各会員都市の観光産業の持つ経験を共有し学ぼうと思います。また、TPOの創設にも多大な関心を持っています。また、ウラジオストックの場合、特に観光産業の育成機構がないという点が遺憾です。しかし、TPOがお互い協力する道具として大変重要な役割を果たすものと思います。改めて申し上げますが、ウラジオストックは、TPO創設に多大な関心を持っており、そのメンバーとなることを希望します。ウラジオストックの規模については、小さいか大きいか一言で申し上げるのは難しいですが、私たちの役割が大きいか小さいかTPOの会員都市としての役割を誠実に果たして行こうと思います。ありがとうございます。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

福岡とウラジオストックが触れられたTPO創設の背景について簡単に説明します。1994年以来アジア都市サミットを

福岡で創設し今まで成功裏に導いております。これは、アジア太平洋都市間の広範囲な協力機構としての性格を持ちます。しかし、様々な分野の内ある部分を集中的に交流させるかを悩んだ結果、21世紀が観光の時代となり、多くの都市が観光を重要な産業として育成するということに焦点を合わせて各都市間の人、情報交流のための機構としてTPOを提案することになりました。TPOは、アジア太平洋都市サミットの一部分だと理解して下さいれば結構です。午後にTPOの規約案に関する論議がありますが、それが可決すれば、TPOのホームページを構築し、そのホームページの中に具体的なコンタクト・ポイントを指定し、会員都市間の情報・物流の交流に大きく資すると思います。ですから、午後に充分論議を経て決定されるべきだと思います。大切なことは、いくら多くの情報を持っているとしても、それが活用されなければ何にもならないということですが、活用のためのコンタクト・ポイントは重要だと思います。この問題は、規約案が可決すれば、釜山市が具体的にまとめて参加して下さいた会員都市のみならず、アジア太平洋全都市に送り、資料を提供するようにしたいと思います。

他に質問ございませんか。では、午前の会議を終えて昼食の後、午後の会議を続開したいと思います。午前の会議に積極的に参加して下さいありがとうございました。午前の会議を終えます。